

平成 28 年度 第 3 回
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験（論述） 問題用紙

実施日 ◆平成 29 年 2 月 19 日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50 分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。
時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 平成29年3月30日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会の Web サイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.jcda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、47歳女性、夫50歳、長女18歳、長男15歳、4人家族

大学卒業以来大手出版社勤務、10年前から雑誌の編集担当、編集長

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

CL1：仕事量が多くなってきていて、このままではやってられないと思うんです。

CCt1：やってられない・・・、どんな様子なんですか。

CL2：最近同じ部署の人が2人も辞めたんですが、当分補充なしで今のメンバーでこなす方向なんです。最近家はまで仕事を持ち帰ってやっています。

CCt2：辞められた人の分が回ってきているということですね。それは、大変ですね。夜は何時ごろまでやってらっしゃるんですか。

CL3：大体8時くらいまで、遅いときは9時を過ぎる時もあります。最近家は持って帰ってやることも増えてきています。

CCt3：そうですか、どのような仕事をしていらっしゃるんですか。

CL4：雑誌の編集をやっています。締め切りに追われる毎日です。

【事例Ⅰ】

CCt4：仕事と家庭の両立が出来ないという問題ですね。

CL5：まあ・・・それもあります。

CCt5：仕事のやり方を変えてみることは出来ないんですか。例えば他の方にも分担してもらうとか。

CL6：それは出来るかも知れませんが、増えた仕事は外部との交渉関係が多くて経験が長い私が担当する方がいいだろうと思っているみたいで、その関係の仕事は私に回ってくるんです。

CCt6：その仕事はAさんしか出来ないんですか。

CL7：そんなことはありません。私には仕事の経験がありますが、この際若い人に経験してもらうことを考える必要もあるのではと考えたりするのですが・・・。

CCt7：そのように提案されてはどうですか。

CL8：でも部長の指示で私がやることになってるんです。

CCt8：では、部長に提案すべきですよ。全体の仕事を考えるのが部長の役目なんだから。

CL9：それはそうですが・・・。

（後略）

【事例Ⅱ】

CCt4：締め切りに追われながら、一方で仕事が増えて行く、そんな感じでしょうか。

（そうです）それは、大変ですね。仕事の量を減らすことをお考えですか。

CL5：仕事の量もそうですが、増えた仕事を私が全部やっているということが釈然としません。

CCt5：釈然としないとおっしゃいますと。

CL6：確かに私は経験も長いし、編集長なんで責任もあります。でも経験の長い人は他にもいらっしゃいますし、編集長は私だけじゃないんです。

CCt6：増えた仕事の対応がAさんに集中するのは不公平だ、ということですか。みんなで分担すればいいとお考えなんですか。

CL7 : そうですね。分担出来ると思います。……でも仕事の中身は交渉関係なので確かに私が
やった方が失敗は少ないとは思いますが……。

CCt7 : 仕事の中身から考えると A さんがやった方が良いとも思っただけですね。

CL8 : そうです。

CCt8 : そうですね。増えてくる仕事を経験者が分担せず、A さんが担ってらっしゃる、家にまで持ち
帰ってやってらっしゃる A さんの姿を思い浮かべて、その時のご自分はどんなふうに見えま
すか。

CL9 : ……寂しそうに見えますね。

CCt9 : 寂しように、それはどういう意味ですか。

CL10 : 増えた仕事は、私がやって当たり前だとみんな思ってるみたいなんです。評価されない中で
やってるのは寂しいですね。孤独です。

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してくださ
い。枠外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い 1]

事例 I と II はキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例 I と II の違いを
下記の 4 つの語句 (指定語句) を使用して解答欄に記述せよ (同じ語句を何度使用しても可。また語
句の使用順は自由)。(15 点)

指定語句

主訴 経験 問題解決 意味

[問い 2]

事例 I の CCt5、CCt8 と事例 II の CCt8 のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しく
ないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記
述せよ。(15 点)

[問い 3]

事例 I ・ II 共通部分と事例 II において、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問
題と思われる点を解答欄に記述せよ。(10 点)

[問い 4]

事例 II のやりとりについて、あなたなら今後どのようなやりとりを面談で展開するか、具体的に解答
欄に記述せよ。(10 点)

設問

[問い 1]

[問い 2]

事例Ⅰの CCt5 (相応しい・相応しくない)

理由：

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

理由：

事例Ⅱの CCt8 (相応しい・相応しくない)

理由：

[問い 3]

[問い 4]
